

小児病棟に絵本を贈る活動

おんしんかい
四国新聞販売店会四国会女性部「温心会」

地元の子育てを支援するイベントに参加 募金により小児病棟へ絵本を寄贈

●実施期間

2010年10月～

●実施地域

香川県内

●活動概要

四国新聞販売店会四国会女性部「温心会」では、2010年10月から毎年、地元の子育ての楽しさや喜びを感じてもらうイベント「かがわ育児の日フェスティバル」のブースに出店。募金を呼びかけ、集まった浄財で入院している子どもたちに楽しんでもらおうと、香川県内の公立病院小児病棟へ絵本を贈呈している。

ブース会場では、スーパーボールすくい無料体験コーナーなどを設け、親子で楽しんでもらうほか、子どもの写真を撮影したオリジナルカレンダーをプレゼントしている。これまでに総額74,642円集まり、3つの病院に合計約60冊の絵本を寄贈している。

*

四国新聞販売店会四国会女性部「温心会」＝四国新聞系統の55販売所店主などの女性55人で組織。水口昌子(みずぐち・まさこ)会長

◎絵本の贈呈活動



2012年(平成24年)10月31日(水曜日)

香川大第一病棟に、絵本28冊を寄贈。四国新聞販売店会四国会女性部「温心会」の代表として、水口昌子会長(左)が、香川大第一病棟の小児科病棟に、絵本28冊を寄贈した。水口会長は「子どもたちに読んでもらって、成長を促してほしい」と話している。



寄贈先からの感謝状



寄贈図書

松本院長(左)に絵本を手交。水口会長(右)が、高松市番町4丁目、高松赤十字病院に、絵本28冊を寄贈した。水口会長は「子どもたちに読んでもらって、成長を促してほしい」と話している。

高松赤十字病院に、絵本28冊を寄贈した。水口会長は「子どもたちに読んでもらって、成長を促してほしい」と話している。

四国新聞 2011年11月3日付

高松赤十字病院に、絵本28冊を寄贈した。水口会長は「子どもたちに読んでもらって、成長を促してほしい」と話している。

高松赤十字病院に、絵本28冊を寄贈した。水口会長は「子どもたちに読んでもらって、成長を促してほしい」と話している。

四国新聞 2010年10月23日付

◎かがわ育児の日フェスティバル開催の様子

子育て・子育て喜びキャンペーンイベント
かがわ育児の日フェスティバル
2013
平成25年10月6日(日) 10:00~16:00
会場:さぬきこどもの国 芝生広場・こども劇場(高松市香南町)
入場:無料(雨天中止)
主催:かがわ子育て支援市民会 かがわ育児の日フェスティバル2013実行委員会

開催の趣旨が買われるよ!!
わくわく児童館

「あやこであそび」プチ・プラネ(無料)
「みんなトクだね応援団」にアクセスしてね!!
「みんなトクだね応援団」検索!!

より環境にやさしいイベントを目指し、リユース食器を利用します。回収にご協力ください。

毎月19日は、「かがわ育児の日」フェスティバルチャリジ

2013年10月6日開催
フェスティバルチャリジ

子育ての喜び実感
家族の笑顔広がる
高松でフェス

子育ての楽しさや喜びを伝えるイベント「かがわ育児の日フェスティバル」が6日、高松市香南町のさぬきこどもの国であった。好天にも恵まれ、約1万2500人の親子連れらが参加し、多彩な催しを満喫した。写真。

「かがわ子育て支援市民会」年から毎年開催しており、今年で8回目。子育て支援に関わる団体や企業など99団体がブースを出した。折り紙製の巾着袋やのべんたんと、ピアスクショアプリスのほか、子育て情報の提供コーナー、飲食物販店などの賑わい、食育イベントも盛りだくさん。高松赤十字病院の院長が、食育イベントの司会を務めた。イベントを盛り上げるアトラクションもあり、会場には子どもたち

「かがわ子育て支援市民会」年から毎年開催しており、今年で8回目。子育て支援に関わる団体や企業など99団体がブースを出した。折り紙製の巾着袋やのべんたんと、ピアスクショアプリスのほか、子育て情報の提供コーナー、飲食物販店などの賑わい、食育イベントも盛りだくさん。高松赤十字病院の院長が、食育イベントの司会を務めた。イベントを盛り上げるアトラクションもあり、会場には子どもたち

四国新聞 2013年10月7日付



オリジナルカレンダー

●自主清掃活動



定期的に神社や海岸などの自主清掃活動も行っている

うみたまご貸し切りイベント 「夜の水族館を楽しもう」

大分合同新聞大分南部、大分植田、日出プレスセンター会

夜の水族館を貸し切り
読者らを招待
親子のふれあいの場を提供

●実施期間

2009年～

●実施地域

大分県大分市、日出町

●活動概要

大分県大分市および日出町の3つのプレスセンター会では、共同で2009年から大分市にある水族館「うみたまご」を貸し切り、営業の終わった夜の水族館に読者らを招待するイベントを続けている。

貸し切り料のほとんどを販売所が負担し、参加者は500円でイベントを楽しめる。水族館職員による解説やスタンプラリーなどのイベントも開催し、普段訪れることのない夜の水族館を楽しみながら、魚の生態を学ぶことができる。親子のふれあいの場として定着しています。

*

大分県大分市および日出町の3つのプレスセンター会=大分合同新聞系統の大分南部、大分植田、日出の各地区の計20販売所で組織。藤原友則（ふじわら・とものり）代表（大分南部プレスセンター会会長）



マーメイドホールの大水槽前に集まった来場者



毎年、多くの家族連れが来場し、夜の水族館を満喫



大分合同うみたまご新聞 2012年10月12日付

(表)



大分合同うみたまご新聞 2012年10月14日付朝刊



館内では、うみたまご職員によるお魚の解説、スタンプラリーなどのイベントも開催した

うっとり…夜の水族館

昼間とは違う雰囲気のアquariumを楽しむ参加者

3000名 読者イベントに2500人

大分合同新聞の大分南部プレスセンター（PCC）会（藤原友則会長）、大分植田PCC会（中嶋裕臣会長）、日出PCC会（真内一成会長）は12日夜、大分市のマリリンパレス水族館「うみたまご」で、読者らを対象にしたイベント「夜の貸し切り水族館を楽しむ」を開催した。

大分合同移動新聞社「おんん号」が出勤し、超高速新聞「うみたまご」を開発しました。

家族連れなど約2500人が参加。昼間とは異なる雰囲気の中、幻想的に光るクラゲやじゃれ合うトドをじっくり観察したり、別府湾の夜景をバックにイルカのショーなどを楽しんでいた。うみたまごのグッズが当たるスタンプラリーなどもあった。

家族で参加した同市金池町の村吉美沙さん（35）は、夜の水族館は初めてだが、癒やされます。娘の桃花さん（11）は「エイがゆくり泳いでいくのが近くで見ました。しっぽが長くてびっくりと話した。

大分合同新聞 2012年10月14日付朝刊

絵本リサイクルバザー

南日本新聞販売株式会社 代表取締役社長 佐潟隆一

絵本リサイクルバザーでの収益金で地域の小学校に図書カード寄贈

●実施期間

2005年11月～

●実施地域

同社エリア内（鹿児島県鹿児島市近郊の新興団地一円）

●活動概要

鹿児島県鹿児島市の南日本新聞販売株式会社は、2002年から絵本の無料貸し出し、親子読み聞かせ会など「絵本」をテーマにした地域還元事業に取り組んでおり、05年から年1～2回のペースで、絵本リサイクルバザーを開催している。

各営業所が発行しているミニコミ紙などで地域の人々に不要な絵本等の提供を呼びかけ、集まった本を安価で販売し、収益のすべてを管内の小学校へ図書購入費として寄付している。これまで延べ12回の開催で、50,300冊を出品し、その売り上げ約100万円を58か所に寄付した。

購入者や寄贈した学校に喜ばれるだけでなく「ものを大切に作る心」を養うことにも貢献している。

*

佐潟隆一（さがた・りゅういち）

◎第12回絵本リサイクルバザーの風景（2012年7月21日開催）



長蛇の列ができるほど恒例のバザーとなりました



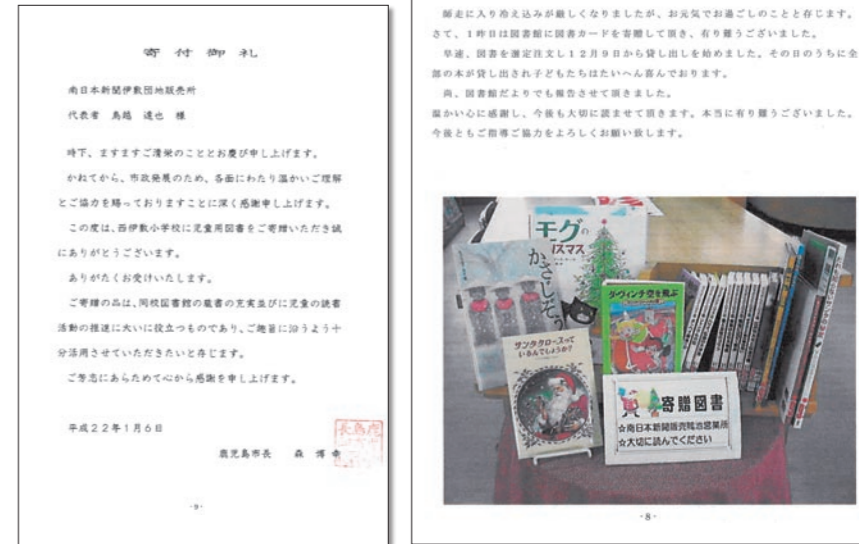
絵本コーナーは子どもたちに大人気



■第11回の収益金は東日本大震災被災地へ寄付



■寄せられたお礼状



■絵本リサイクルバザー収益・寄付状況

	実施日	会場	出品冊数	来場者数	売り上げ	寄付校数	寄付金額	備考
第1回	平成17年7月2日	Aコープいしき店	約1,800冊	約450人	35,070	2	35,070	図書カード
第2回	平成17年11月19日	ふれあいスポーツランド	約2,000冊	約430人	66,050	6	66,000	図書カード
第3回	平成18年7月8日	ファミリープラザ明和	約4,500冊	約250人	63,000	6	63,000	図書カード
第4回	平成18年11月26日	州舎	約3,500冊	約400人	51,590	4	51,590	図書カード
第5回	平成19年7月7日	ふれあいスポーツランド	約4,500冊	約450人	96,050	9	106,050	図書カード
第6回	平成20年2月9日	ファミリープラザ明和	約5,000冊	約450人	92,385	8	81,000	図書カード
第7回	平成20年7月5日	州舎	約4,000冊	約400人	79,500	5	80,000	図書カード
第8回	平成21年2月7日	ふれあいスポーツランド	約4,500冊	約400人	106,090	0	0	寄付は次回に繰越
第9回	平成21年7月4日	ふれあいスポーツランド	約3,500冊	約450人	103,910	7	210,000	第8回分とまとめて寄付図書カード
第10回	平成22年7月17日	ふれあいスポーツランド	約6,000冊	約550人	103,910	5	100,000	図書カード
第11回	平成23年7月23日	ふれあいスポーツランド	約5,000冊	約600人	100,050	1	100,050	東日本大震災へ義援金
第12回	平成24年7月21日	ふれあいスポーツランド	約6,000冊	約500人	95,000	5	97,500	図書カード
合計			約50,300冊	約5,330人	992,605円	58カ所	990,260円	

※売上に対して寄付金額の差額は次回寄付分に繰越

◎絵本リサイクルバザーのほかにも、子どもを育み地域をつなぐ事業を行っています

■営業所に絵本を配置 無料貸し出し



各営業所に50種類の絵本を2冊ずつ、計100冊を配置し、エリア内の新聞購読者に限らず全住民を対象に絵本の無料貸し出しを行っています。忙しい主婦や、孫に読ませたいと思う高齢な方など、手軽に借りられるとあって大変喜ばれています。直接ご来店いただいたの貸し出しに加え、事前に配布した絵本の貸し出し案内から選んで連絡をいただくと、ご自宅までお届け・回収もしています。

■絵本回収時にベルマーク、インクカートリッジも回収・寄付へ



絵本など古本を回収する際に、「地域の子もたちを応援しよう」とベルマークと使用済みのインクカートリッジの提供を呼びかけ、平成19年から回収を行っています。新聞購読料の集金や現読者訪問の際に「集めていたので持って行って」と、子どものいない世帯でも気に留めてくださる方が多く、「地域の宝である子どもたちを応援しよう」と、地域に一体感も生まれています。不定期ではありますが、箱いっぱい集まった時点で教育施設に寄贈しています。

応募状況および選考経過・発表

応募状況

2013年4月19日の募集開始から6月14日の締め切りまでに、全国の新聞販売所、系統会、新聞販売同業組合などから合計66件の応募があった。7月下旬までに各地区ごとに選考が行われ、同月末の日本新聞協会販売委員会への上申締め切りまでに、全国11地区から24件の活動が上申された。

今回で7回目を迎える2013年の地域貢献大賞では、自薦だけではなく、3年前から導入している他薦の仕組みとして、新聞各紙にPRを兼ねて、読者から推薦活動を募る広告を掲載した結果、読者から49件の活動が推薦された。49件の内容を分類すると、ミニコミ紙や折り込みチラシなどの発行、イベント開催などに関する活動が多数を占めた。なお、上申された24活動のうち、3活動が読者推薦によるものである。

選考経過・発表

9月13日開催された外部審査員(55ページの名簿参照)による選考会での選考ならびに、地域貢献大賞選考委員会(=販売委員会正副委員長会議(55ページ名簿参照))で下記のとおり審査・選考を行った。

1. 選考会

9月13日(金)開催の選考会

選考に先立ち、各候補作品について事務局から説明したうえで、販売委員会に上申のあった24件の活動の中から、地域貢献大賞候補1件を選考した。

当日は、5人の外部審査員と、小林販売委員会委員長(朝日東京)が出席し、外部審査員から評価の高い活動を挙げて絞り込んだ後、話し合いにより決定した。

2. 選考委員会

9月19日(木)に開催。選考会の結果を踏まえ審議の結果、地域貢献大賞1件、地域貢献賞23件を選出した。この結果は、同日開催の販売委員会に委員長から報告、承認された。

3. 理事会

10月2日(水)開催の新聞協会理事会は、販売委員会からの選考結果と選考経過に関する上申を承認した。

4. 発表

新聞は10月3日(木)付朝刊以降、放送・電子メディアは、10月3日(木)午前5時以降で取り扱った。このほか、新聞協会ホームページでも発表した。

5. 表彰式

11月21日(木)開催の東京・千代田区内幸町のプレスセンターホールで開かれる第13回新聞公正取引協議会会員総会の席上で行われ、全受賞者には新聞協会会長から、賞状とメダルが贈られる。

審査員名簿

(敬称略)

法政大学名誉教授	石坂悦男
日本消費者協会専務理事	佐伯美智子
文字・活字文化推進機構理事長	肥田美代子
脚本家	水橋文美江
作家	山本一力
	以上5人

選考委員会名簿

朝日新聞東京本社 販売局長	小林剛
毎日新聞東京本社 販売局長	下林光夫
読売新聞東京本社 常務取締役販売局長	黒澤幸
日本経済新聞社 常務執行役員販売局長	塚田雅彦
産経新聞東京本社 販売局長	天谷誠一
東京新聞 販売局長	前田昌彦
北海道新聞社 取締役販売局長	小川直樹
河北新報社 常務取締役販売担当	加藤伊佐雄
新潟日報社 常務取締役販売本部長	星野純朗
神戸新聞社 執行役員販売局長	岡野佳博
山陽新聞社 取締役販売局長	土井雅人
熊本日日新聞社 役員待遇販売局長	濱田浩生
	以上12社12人

日本新聞協会 地域貢献大賞 2013年

2013年11月21日発行

一般
社団法人 日本新聞協会

〒100-8543 東京都千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル7階

電話 03 (3591) 4405

<http://www.pressnet.or.jp>

日本新聞協会
地域貢献大賞

2013
年



新聞販売所の地域貢献活動